



ガーナ

【対象】 ガ地区アマサラム地域・アクラ市・アクラ市郊外の小中高生
 【支援期間・金額】 学費・制服・くつ・文房具の費用として毎年 12,000 円を小中学生に支援。授業料として 50,000 円を高校生へ支援。1 年ごとに見直し。
 【開始年度】 2002 年 1 月
 【里子数】 (2017) 54 (2018) 51
 【里親数】 (2017) 55 (2018) 55



ギニア・ビサウ

【対象】 ソナック小学校の児童、ソナック中学校の生徒
 【支援期間・金額】 毎月 3,000 円または 1,000 円
 【開始年度】 2001 年 1 月
 【里子数】 (2017) 43 (2018) 41
 【里親数】 (2017) 43 (2018) 41



ケニア

【対象】 ハンドウ中学校・高校の生徒
 【支援期間・金額】 1 年間 15,000 円。1 年ごと更新（希望があれば継続）。
 【開始年度】 1998 年 5 月
 【里子数】 (2017) 40 (2018) 40
 【里親数】 (2017) 19 (2018) 18



赤道ギニア

【対象】 モトコ・シロマ幼稚園・小学校とピラール・モモ幼稚園・小学校他数校に通う 5～15 歳（幼稚園～小学 6 年生）の生徒
 【支援期間・金額】 1 年間の授業料（学用品含）10,000 円の支援
 【開始年度】 2002 年 10 月
 【里子数】 (2017) 100 (2018) 107
 【里親数】 (2017) 95 (2018) 92



マラウイ

【対象】 優秀だが経済的な理由で学業継続が困難なムズズ大学保健科学部の看護学生
 【支援期間・金額】 年間の学費 62,500 円を支援
 【開始年度】 2016 年 3 月
 【里子数】 (2017) 6 (2018) 8
 【里親数】 (2017) 6 (2018) 8



モーリタニア

【対象】 5～15 歳（中学生）の孤児もしくは貧困家庭の子ども
 【支援期間・金額】 毎月里親会員 3,000 円・サポート会員 1,000 円。この会費の 8 割が養育費となる。コレッジ（中学 3 年）を卒業するまで支援。
 【開始年度】 1997 年 10 月
 【里子数】 (2017) 13 (2018) 14
 【里親数】 (2017) 6 (2018) 7



ルワンダ

【対象】 ニューホープ技術専門学校に通う孤児・貧困者
 【支援期間・金額】 1 年間 30,000 円
 【開始年度】 1999 年 1 月
 【里子数】 (2017) 57 (2018) 53
 【里親数】 (2017) 56 (2018) 60

その他実施国：インド、カメルーン、スリランカ、ホンジュラス

青少年健全育成



清掃キャンペーンを呼び掛ける子供達



難民キャンプで劇を演じる子供達

中東 ヨルダン

恵まれない青年と子供たちへの教育

概要: 2015年10月、第2の都市ザルカにおいて、難民キャンプ内の青年グループの希望により、難民キャンプ内の子供達のための演劇を通じた情操教育の支援を開始。青年や子供達が困難な環境に打ち勝ち、心の持ち方で可能性が広がることを演劇を通して体験し、精神面での強さを身につけることを目的としている。

ヨルダンでは、10年間の基礎教育校が小・中学校レベルで、義務教育となっている。しかし、貧困地域の公立学校には、遠足、運動会、スポーツの競争など、子供たちのための行事がない。学校の勉強にも、1クラス40～50人の児童の内、15人ほどしかついていけない。学力の低い子供たちに対する対策はなく、そのまま進級しても8、9年生で、学校を去る子が多い。その後、仕事を探しても良い仕事には就けない。そのような子供たちの情操教育を目的とした活動を企画することにした。

進展状況

【2018】

● 7～8月、ヨルダン人の40人の12～14歳の基礎教育校の生徒達が、4つの物語を作成し、3か所のパレスチナ難民キャンプへ演劇公演ツアーを実施。100人の難民の子供たちの前で劇を演じた。

<ツアーに参加した子供たちの感想>

「僕は良い人間になりたいです。もう喧嘩はしたくありません。地域の為に尽くしていきたいです。」(12歳男子)

「今まで学校に行ったことがありません。小さい頃から、お父さんとダンボールを集める仕事をしています。今回参加してみて、一生懸命勉強して、将来は、何かの技師になりたい。いつまでも、ダンボールだけを集める人間になりたくないです。お父さんを助けることは続けますが、その合間に、センターに来て勉強をしてゆきます。」(14歳男子)

● 11月、WFPルサイファセンター周辺に住む70人の子供たちが清掃キャンペーンを実施。4人1組のグループを作って、家庭訪問をして、「街をきれいにするキャンペーンに協力してください。」とパンフレットを見せ、協力を承諾してくださったら、パンフレットを玄関に貼らせてもらい、最後に、チョコレートのプレゼントを渡した。

子供たちにとって、訪問し、説明し、プレゼントを渡すという過程は貴重な体験となり、多くの子供たちが参加した。家庭訪問した先の住民の方々にもとても喜ばれた。

中南米 ホンジュラス

青少年の健全育成プロジェクト

概要: ホンジュラスでは貧困ゆえに勉学の機会が失われたり、小さい時から仕事を強いられたり、ドラッグに手を出す子供達も多い。青少年の性の乱れ、早期妊娠、未婚の母などの問題解決のために、青少年の健全育成活動が必要とされている。

2001年テグシガルパ市レパルト地区で、WFPがサッカーと純潔教育を実施したことがきっかけとなり、この地域に青年団体が結成された。この団体では定期的に、スポーツ、エイズ予防・道徳教育、社会奉仕活動を実施。WFPでは2015年よりエイズ予防教育の教材提供、エイズ予防・道徳教育講座の指導とともに、活動資金の一部を支援している。

進展状況

【2017】

7月8日、WFP杯サッカー大会開催。レパルト地区でサッカーチームを持っている小学校から5チーム(うち2つが女子チーム)が参加。観客を含め約100人が集まった。人格教育に力を入れており、当日「子供達を教育すれば、大

人達を罰する必要はなくなる」というメッセージのバナーを掲げた。

【2018】

9月22日、WFP杯サッカー大会開催。12チームが参加。レパルト地区でサッカーチームを持っている小学校から子供達が参加。観客を含め250人参加。大会ではボランティアが食事を用意し子供達にふるまった。



サッカーボールを賞品として授与